

## 令和元年度学校評価について

学校番号	6	学校名	滋賀県立大津高等学校
校長名	森 美穂		

### 1 評価方法について

領 域	評 価 方 法 ・ (実施月)	
	自 己 評 価	学 校 関 係 者 評 価
1 学校経営	○12月に実施した保護者向けアンケートと生徒向けアンケートの結果を教員に示し、自己評価を行った。	○保護者向けアンケート結果、生徒向けアンケート結果、教員アンケート結果を2月に実施した第2回学校評議員会の前に配布をして内容を確認していただいた。それを基にして、学校評議員の会議で、自己評価の結果を学校評議員に示して協議を行い評価を決定した。
2 学習指導		
3 生徒指導		
4 進路指導		
5 特別活動等		
6 学校図書館		
7 保健・安全指導		
8 人権教育		
9 環境教育		
10 事務・管理		
11 その他学校の取組み		

### 2 学校評価の活用等について（課題の改善に向けた具体的な取組み等）

#### 1 学校経営

生徒アンケートの項目「私は毎日充実した学校生活を送っている」、保護者アンケートの項目「子どもは毎日充実した学校生活を送っていると思う」において、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の割合は、それぞれ91.5%、93.1%と評価は高い。

しかし、学校からの情報提供については、保護者アンケートの項目「学校は教育活動に必要な保護者宛の案内や連絡を適切に行っている」では、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の割合は、85.0%となっているものの、保護者アンケートのコメントでは、学校の情報をできる限り早く伝えてほしいとの要望が数件あった。今後、ホームページの更新やメール配信等で、より速やかな情報発信に努めていく。

行事の実施については、今年度は、熱中症予防対策として、学園祭を例年の7月から6月実施に変更した。学校評議員の方からは、準備期間が短くなり、心配したが、熱中症もなく、無事成功に終わってよかったとのコメントをいただいた。

また、ICTの活用について、平成30年10月に全普通教室に電子黒板型プロジェクターを設置し、今年度は、本格的にICTを活用した授業を行った。「主体的・対話的で深い学び」を実現するよう授業改善を行って、授業参観をしていただいた学校評議員の方々から、生徒は居眠りもなく、集中して、生徒同士が学び合いながら、明るく楽しそうに授業を受けており、よい授業であったとの評価をいただいた。

#### 2 学習指導

生徒アンケートの項目「授業内容の説明は、丁寧でわかりやすいものが多い」、「授業は興味をそそる話を入れるなど熱意を持って進められている」において、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の割合は、それぞれ年々増加しており、73.9%、60.6%となっている。また、保護者アンケートの項目「学校は子どもの学力向上について熱心に取り組んでいると思う」においても、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の割合は、年々増加しており、76.8%となっている。本校では、「学びの変革」発展プロジェクトのモデル校の指定を受けて、大学教授等を招いた教職員研修会や公開授業の実施、他校での公開授業の参観、夏休みの研修会・講座への参加などを通して教員間に授業改善を行っており、授業改善の意識と実践意欲が確実に高まっており、日ごろ取り組んでいる「主体的・対話的で深い学び」につながるような授業改善の結果が徐々に表れていると思われる。

しかし、家庭での学習習慣の確立が十分でないという回答の割合が高く、生徒アンケートの項目「私は予習（または復習）をするようにしている」において、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の割合は、年々増加し、昨年度より12.5%増加しているものの、36.3%と依然低い状況となっている。

また、保護者アンケートの項目「子どもが家庭で学習している姿を以前よりよく見る」においては、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の割合は、57.1%と、微増にとどまっている。本校では、学習時間調査を行い、家庭学習についての意識付けを行っており、徐々に成果が出てきているが、今後さらに、家庭学習に関する意識付けを行い、復習の習慣をつけさせていく。

### 3 生徒指導

生徒アンケートの項目「私は約束や規則を守り他人に迷惑をかけないように心がけて生活している。」において、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の割合は、96.1%となっており、実際多くの生徒は基本的な生活習慣が身につけており、集団生活のルールを守って生活できている。

また、いじめ防止については、生徒アンケートの項目「学校はいじめ防止や、生活アンケートを通していじめの早期発見に努めていると思う」、保護者アンケートの項目「学校は、いじめの未然防止や早期発見に努め、適切に対応していると思う」において、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の割合はそれぞれ77.0%、80.2%となっている。いじめに係るアンケート（年3回）を活用し、丁寧な面談をするなどしていじめの早期発見・早期対応に努め、いじめ対策委員会を随時開いて組織で対応している。SNSでのトラブルなどスマートフォン等の不適切な使用に関わる問題など、いじめにつながりかねない問題も起こっていることから、生徒の様子を注視するとともに、いじめの未然防止等の取組（啓発活動、アンケート等）を一層進めていく。

### 4 進路指導

生徒アンケートの項目「学校では進路に関する情報が提供されている」では、「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の割合は80.6%となっているが、保護者アンケートの項目「学校は就職や進学に関する進路情報を十分に提供している」では、69.9%と低くなっている。さらに、保護者アンケートのコメントでも進路情報を十分に提供されていないという意見が数件寄せられた。これを踏まえ、今後、生徒に対して、LHR、総合的な探究（学習）の時間等で、進路に関する意識付けや発達段階に応じた情報提供に一層努めていくとともに、一方、保護者に対しては、三者懇談、保護者進路説明会やHP等で十分に情報が伝わるよう工夫していく。

### 5 特別活動等

部活動について、生徒アンケートの項目「私は、部活動にやりがいを感じている」、保護者アンケートの項目「子どもは学校での部活動に生き生きと取り組んでいると思う」について、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の割合はそれぞれ70.8%、79.6%となっており、概ねしっかりと取り組んでいる。今後も、時間を有効に使い、練習と休養のバランスを取りながら、生徒がより高い目標をもって主体的・意欲的に取り組めるよう効果的な指導・支援の在り方を模索していく。

### 6 学校図書館

生徒アンケートの項目「図書館を利用したことがある」では、「よくあてはまる」「ややあてはまる」が58.3%と低い。不読率は、昨年度の61.1%から53.5%と大きく改善（割合が低い方が結果が良い）したが、依然50%を超えている。今後、読書習慣の確立に向けて、これまでも行っている図書委員による読書週間の呼びかけや図書館を活用した探究的な授業の展開、ビブリオバトルや朝読書を充実させるとともに、さらに、今年度新たに実施した図書館主催のワークショップ「ブックカバーづくり」や「しおりづくり」など魅力的な催しを企画するなどの取組を継続・充実させていく。

### 7 保健指導

生徒アンケートの項目「先生は心身に不調を生じた際は、親身になって対応してくれる」において、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の割合は、年々増加しており、77.4%となっている。支援の必要な生徒について、保健室と学年が連携して、丁寧に対応してきた結果が徐々に出てきている。今後、引き続き個別対応が必要な生徒には、保護者との連携を深め、保健室や教育相談担当が中心となって、生徒との関係を深め、専門機関につなぐことや相談しやすい雰囲気づくりを進めていく。

### 8 人権教育

生徒アンケートの項目「私は学校の人権学習を通じて人権尊重の意識が高まったと思う」、「学校は人権学習について熱心に取り組んでいると思う」において、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の割合は、それぞれ85.5%、88.8%と、評価は高い。また、保護者アンケートの項目「学校は人権教育について体験を通じた学習に力を入れていると思う」において、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の割合は、85.8%と高く、本校が取り組んでいるより深い学びにつながるような地域の施設での体験的な学習等のフィールドワークの成果について理解をいただいていると考える。

本校は、「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」の指定を受けており、日頃の授業における主体的な学びや人権教育についても、道徳教育の観点を取り入れて実施しており、今後も、より人権意識を高めるための効果的な指導のあり方を模索し、改善を図りながら取組を継続していく。

## 9 環境教育

評価項目の内容を変更し、「各教科において、SDGsの視点を活かした学習の可能性を探るとともに、実践に努めている」としたが、中間評価（自己評価）では「C」と低い評価であった。「SDGs」の語義や概念について再確認し、各教科で「SDGs」の視点を意識した取組を行い、総合評価では「B」となった。

生徒アンケートの項目「私は教室や担当箇所の掃除当番に当たっているときは必ず清掃している」、「私はごみの分別に配慮し、教室の整理・整頓に心がけている」において、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の割合は、それぞれ95.5%、92.2%と高い。環境教育については、日常の清掃指導等をとおして進めており、多くの生徒はごみの分別や清掃活動にしっかりと取り組んでおり、また、学園祭のデポジット制の実施など環境への意識が高まっている。しかし、学校関係者評価では「B」評価であり、まだまだ不十分なところもあるため、今後も各教科の授業や特別活動において、さらに環境問題への意識が高まるような実践を進めていく。

## 10 事務・管理

施設・設備の改修や修繕は、着実に進められているが、施設の老朽化が激しく、改修の必要な箇所が多いこともあり、評価は「B」となっている。今後も修繕や更新を適宜行い、生徒に快適な学習環境を提供していくように努めていく。

## 11 その他学校の取組

P T A、学校評議員、他校の教員への公開授業を積極的に行っている。また、地域の活動やボランティア活動に生徒会、家庭クラブ、各部活動が積極的に参加し、交流を進めている。その結果、学校関係者評価で「A」評価をいただいている。この評価に甘んずることなく、特色ある教育活動をさらに推し進めていく。

<<保護者アンケートの主な意見（自由記述）に関する学校の対応について>>

※なお、いただいたコメントはすべて、記載者が分からない状態で、職員会議において周知し、その上で対応を検討しています。

### 【学習関係】

- ・もっと勉強させてほしい。進学指導に力を入れてほしい。  
→今後さらに、生徒個々の進路実現のために、学校全体で進学指導に取り組んでまいります。

### 【進路関係】

- ・進路に関する情報提供をもっとしてほしい。  
→今後さらに、進路課を中心に進路や受験に関する学習機会や情報の提供に努めます。

### 【生徒指導】

- ・制服を見直してほしい。  
→今後、検討を行っていきます。なお、カーディガンについては、生徒会が中心となり、制服に関するアンケートを実施し、現行の規定のままという結果になりました。リボン、ネクタイについては、今後、生徒会を中心に検討します。

### 【施設・設備】

- ・トイレを修繕してきれいにしてほしい。  
→校舎内のトイレについては、修繕を行います。（令和2年調査・設計、令和3年度修繕予定）  
体育館内のトイレについては、毎年、県に修繕の要望をしています。
- ・セミナーハウスの和室の畳表を張り替えてほしい。  
→令和元年度に修繕しました。

### 【その他】

- ・学校からの連絡メールを早くしてほしい。  
→今後、迅速な情報提供に努めます。
- ・避難訓練において、実際に避難をする訓練ができていないのではないかと。  
→避難訓練の日が雨天であったため、実際に避難をする訓練はできませんでしたが、教室で避難経路の確認や防災に関する啓発を行いました。なお、再度、避難訓練を3月の行事予定に組み入れておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る臨時休業のため、実施できませんでした。令和2年度は、実施できるようにします。